

こんにちは！浮島八幡神社西100mの「酒の宝島」です。とおから千ラシ配りをサボっておいしましたが、1年ぶりに再開しました。僕はこの5月で64歳になります、店主、河端泰男と申します。これから、健康のためにも1日2〜3時間は歩いてお邪魔しようと考えております。決して怪しいもんではありませんので、よろしくお願ひします。最近はお朝の散歩もサボっておいしましたので、足腰も弱ってんやないかと思ひます。歳寄ったらなるだけ歩かんてね。

しかし、いつまでやれるでしょうか？ここまで来ると、ついそないなことも考え勝ちですが、80どころか90になっても現役の人もおるんを見るに、やっぱり、気の持ちようやと思ひますわ。要するに自分から老け込まんて、これ、大事ですわ。ただし、やりすぎは禁物、年寄りの命や水いいうこともあるし、そこそこがええですな。



僕は「バカボンのパパ」でいこうかと思ひます。かしこげえに言うて、あれ、老子の精神で、気分よくてなく空気のように生きて、やがて死んでいく、そんな感じですか。

去年は30年ぶりに浮島自治会の役員になって、放送係をし、太鼓台にもまがりに行きました。60も過ぎて嬉しげえに太鼓もないでしょうが、垂れ掛かった舟いうこともあるし、太鼓にはしばらく遊んでもらおうと思ひます。とはいえ、一トで「酒の宝島」を切り盛りしてしまふんで、朝と夜だけの参加ですわ。

ほうなんです、店番も配達も今のところ僕一人なんです。せやから、午前中に千ラシ配りやら配達やらをして、夕方迄は「酒の宝島」の店番、夜は「チュー太郎」という「ちょっとバー」のパーティーに様変わりします。そんな僕が一番の楽しみは晩酌です。一日一食主義なんで、その日初めての食事と酒、これ、堪れませぬわ。特に僕は燗酒が好きなんで、毎日一合五勺から三合くらい、燗ピンでしんちんして色んな猪口でやります。こいつのお陰で肌は四十台、ホンマでっせ。

世の流れは清酒離れ、特に燗酒を好む若い人はメッキリ見掛けんようになりました。ほうほう、飲み屋さん行って、「燗酒ちょうだい」言うて、「は？」と言われるですわね、「いや、燗つけた酒よ」「ああ、あつかんですか」「いや、ぬる燗で」、意固地な僕はよおやっただんですが、最近諦めて端から「あつかんちょうだい」と言うようになりました。

寂しいハナシです。と、ここで投げたらアカン！な訳で、僕の使命は「燗酒を広める」ことなんす。そこで、つい最近、お値打ちな燗に向く酒を二三仕入れました。良かったら試してみてください。それで、余談ですが、僕は敢えて清酒と呼ぶんす。ほしや日本酒の方が通りますが、僕がこの家業に入った頃は「清酒」といよったんす。そういう変なとこ、拘ります。焼く迄なおらん性格でしょうね。

さて、今日はここまで。また回ってきますけん、気軽に声かけてくださいな。

追伸

僕はBSが好きでお観るんですが、TBSの「町中華で飲ろうぜ」を知ってますか？玉ちゃんもいいますが、高田秋ちゃんが可愛いですわ。で、彼女はある回「アカボシがある。これ、飲んでみたかったんすよね」と。

「アカボシ」って知ってます？

通称「赤星」、正式名は「サッポロラガービール」。

去年で誕生140年を迎えた、現存する日本でもっとも歴史あるビールブランドです。

秋ちゃんが美味そうに飲むけん、仕入れましたかな。パウでも配達しますけん、電話ください。値段は裏面の大幅に中瓶のところにあります。キリンやアサヒと同じにしています。ホンマは仕入れが若干高いんですけど…

ほんで、燗酒特集ですが、「2019全国燗酒コンテスト最高金賞受賞酒」があります。中でもお値打ちなのが、これです。

表示価格は全て税別です。

- ・越後桜酒造 越後桜 瓶 1800ml 980円
- ・大関上撰金冠はこのだけ2Lパック 1380円 他

他にもオススメしたいんがようけあります。良かったら右のQRコードから覗いてみてください。(PC版に切り替えた方が見易いです)



「スマホでなんやねん」という方は、お気軽にお電話ください。何なりと。ただ、店におらんことがありますんで、携帯に…電話番号は、080 4038 3717 です！

配達いたします！

5000円以上のご注文は無料、未満は500円の配達料(表示価格は全て税別)

蓬萊 亀の尾 純米大吟醸 生酒 要冷蔵 720ml



超希少限定本数千本

キリッとした飲み口に広がる生酒のレアな旨味。

入手難易度“S”ランクとも言われる飛驒の酒。亀の尾とは漫画「夏子の酒」のモデルになったことで一躍有名になったお米。秋田県の自然に恵まれた環境の中で、亀の尾栽培農家鈴木秀則さんが丹精込めて作るお米を特別に入手し、醸す逸品です。

また、精米歩合は50%の純米大吟醸で、旨みを引き出すために搾りたてをすぐにビン詰めし、火入れをせず、生のままで蔵出しする限定生産品です。若く軽快な香りに柔らかく澄んだ味わいが特徴的なお酒に仕上がっており、ひだほまれが主流の飛驒の酒の中では抜群の軽快さを魅せます。

生酒ということもあり、口当たりが滑らかでしっとりとした仕上がりで、和食中心にあっさり目の料理に好相性です。

ぜひ、飛驒の蔵が醸す「亀の尾」の味をご堪能ください。

在庫限り!お早め!!

¥1980

瓶詰月2018.2. 熟成味がお好みで無い方にはお勧めいたしません

辛口にこだわり続ける 三千盛あります！

三千盛は、甘い酒でなければ売れぬというこの2〜30年間、先祖伝来のから口を守って、まやかしのない、正直一途の商売を通してきた酒造りである。この頃、いろいろな品に「手作りのよさ」というが、この酒こそ手作りの味だよ。酒が甘ったるくて呑めないという友人の言葉を聞くごとに、それではこの酒を呑んでみてくれと、別に頼まれた訳ではないが、宣伝力皆無の点に同情して肩を入れ、肩を持ってきたのは、その生一本さにほだされたからだ、うれしいことに、銀座でも、赤坂、日本橋でも、東京の盛り場でこの酒を使う店が方々に来た。

から口の酒と一口に云っても、いろいろあるが、正直一途でごまかしのない三千盛を敢えて愛酒家諸兄におすすめする。まあ一度、是非呑んでみてください。

作家一永井瀧男氏談話

知る人ぞ知る酒なんです、多分知らない人の方が多いのも事実。酒の宝島では、30年ほど前から特約店として、細々とご紹介しています。本物の辛口を味わってみたい方、是非とも一度お試しください。

プロの方にもおすすめしたいラインナップ 勿論、まだまだありますが…

- 銘醸(普通酒) 1.8L ¥1880
- 本醸(本醸造酒) 1.8L ¥2280
- 純米(純米大吟醸) 1.8L ¥3280

ご注文方法の詳細はウラ面にあります。ご注文専用番号 080 4038 3717

酒の宝船

(酒の宝島の店舗は、14時開店です)

酒の宝船は、酒の宝島の宅配事業部です。酒の宝島は昭和38(1963)年創業、浮島八幡さんの西100m辺りにある黄色い店です。